



今号の紙面から ●3面 市民センターで個人番号カードの交付を開始します ●4面 みんなでつくる未来の場③

2018新春座談会

市長と語る
次世代の主役たち

2018年初の広報まちだは、子どもセンターで活動している15歳から20歳までの若者5人と、石坂丈一市長の座談会をお届けします。

- Q1 町田っ子のソウルフードって何だと思う？
- Q2 今なくなったら困るものは何？

くら

- A1 つるっこ応援隊が作ってくれる「つるっこ柿」。
- A2 断然、友達。絶妙なアドバイスをくれるから。

まい

- A1 仲見世商店街の「大判焼き」。
- A2 携帯電話。今はあって当然の生活になっています。

森さん

- A1 近所のラーメン屋さんの「塩ラーメン」。
- A2 子どもセンターとバスケットです。センターは好きなことがいっぱいできるから。

ジョージ

- A1 母の作った「酒まんじゅう」。心のソウルフード。
- A2 車。週に一度、車に乗って鳥を見に行くのが楽しみなんだ。

るか

- A1 町田にはクレープ屋さんがたくさんあるから「クレープ」。
- A2 小説です。小さな頃から本が大好きで、物語の世界に入り込んだり。あとは部活の弓道。

デビちゃん

- A1 町田といえば、「肉」かな。焼き肉屋さんがいっぱいあるので。
- A2 パソコン。好きなことは全部、パソコンでやることなので。

子どもセンター
ばお
山田陽香さん・15歳
ニックネーム
るか

子どもセンター
ただON
デビス愛実さん・20歳
ニックネーム
デビちゃん

石坂丈一市長・70歳
ニックネーム
ジョージ

子どもセンター
つるっこ
倉川和也さん・18歳
ニックネーム
くら

子どもセンター
まあち
林田真衣さん・18歳
ニックネーム
まい

子どもセンター
ばあん
森川龍哉さん・16歳
ニックネーム
森さん

市では昨年、市内に5館ある子どもセンターで、将来を担う若者たちに「まちづくり」について意見を聞き、市政に反映することを目的として、「若者が市長と語る会」を行いました。この会では参加者から、率直な意見やユニークなアイデアが飛び出しました。

今号では、次世代の主役となる若者たちを代表し、各子どもセンターでルール作りやイベント開催などの運営に関わっている若者たちと石坂丈一市長の座談会をお届けします。次世代の主役たちと市長が描く、未来の社会や町田市への思いを聞いてみました。

20年後は、どんな社会になっているだろう

明けましておめでとうございます。
日頃、若い人の意見を直接聞くチャンスがないので、今日は貴重な機会だと楽しみにしていました。実は昨年、各子どもセンターにお邪魔して、皆さんのような若者たちと語り合う「若者が市長と語る会」を行いました。そこで皆さんが日頃考えていることを聞くことができ、今後もそういう機会を増やしていきたいと感じました。今日の座談会も、広報紙でたくさんの方に読んでいただく

ことで、若い世代の考え方を知っていただきたいなと思います。

—2018年がスタートしました。皆さんは一人ひとりが主役となって、これから未来を作っていくわけですが、皆さんが作る20年後の未来は、どうなっていると思いますか？

まい AIやロボットが進化しているから、ロボットが友達になって、話し相手になってくれたり、私の手助けをしてくれたりしているかな。

森さん でも、軍事ロボットが発達して、映画の「ターミネーター」みたいな悪いロボットも出てくるようになって、世の中を支配しちゃうかも。